

第7回「山の日」全国大会おきなわ2023 について

「山の日」全国大会とは

- 全国大会は、国民の祝日「山の日」(8月11日)の趣旨である「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことの浸透を図る目的で、毎年、全国持ち回りで開催されています。
- 第7回「山の日」全国大会は世界遺産登録地である「沖縄島北部」、「西表島」で開催します。

大会の行事概要

1 日時: 令和5年8月10日(木)、11日(金)

2 場所: 国頭村、大宜味村、東村、竹富町

3 内容: ①歓迎レセプション(10日、招待者のみ)

②記念式典・記念行事(11日、招待者、一般参加者)

③トレイルウォーク(10・11日、一般参加者)

④歓迎フェスティバル(11日、一般参加者、申込不要)

4 招待者: 環境大臣、林野庁長官、国会議員等

5 目標: 大会を通じた集客 約5,000人



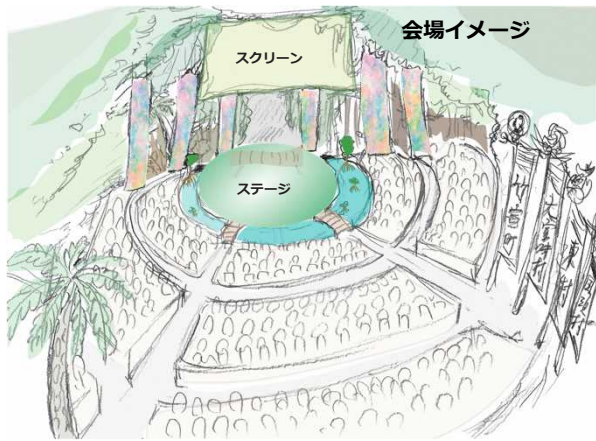
【お問い合わせ】

沖縄山の日



第7回「山の日」全国大会実行委員会
事務局: 沖縄県環境部環境再生課

「記念式典・記念行事」



日時：令和5年8月11日(金・祝日) 8:30～12:00
会場：大宜味村立大宜味小中学校体育館
参加人数：1,200名(予定)

記念式典 8:45～

- ・オープニング映像
- ・演舞「あけもどろのサバクイ」
- ・合唱「山はふるさと」
- ・メインアトラクション
- ・リレーセレモニー など

✓ 平田大一氏による演出舞台



記念行事 11:00～

- ・HYオープニングライブ
- ・県内学生の取組発表
- ・演奏/池田 卓
- ・ゲストによるトークセッション
- ・おきなわ百低山フォトグランプリ など

✓ 多彩なゲストが出演



「歓迎フェスティバル」

来場自由の賑わいイベント

日時：令和5年8月11日(金・祝日)10:00～17:00
会場：東村村民の森つつじエコパーク
概要：お笑い芸人トークショー、親子向け体験企画など

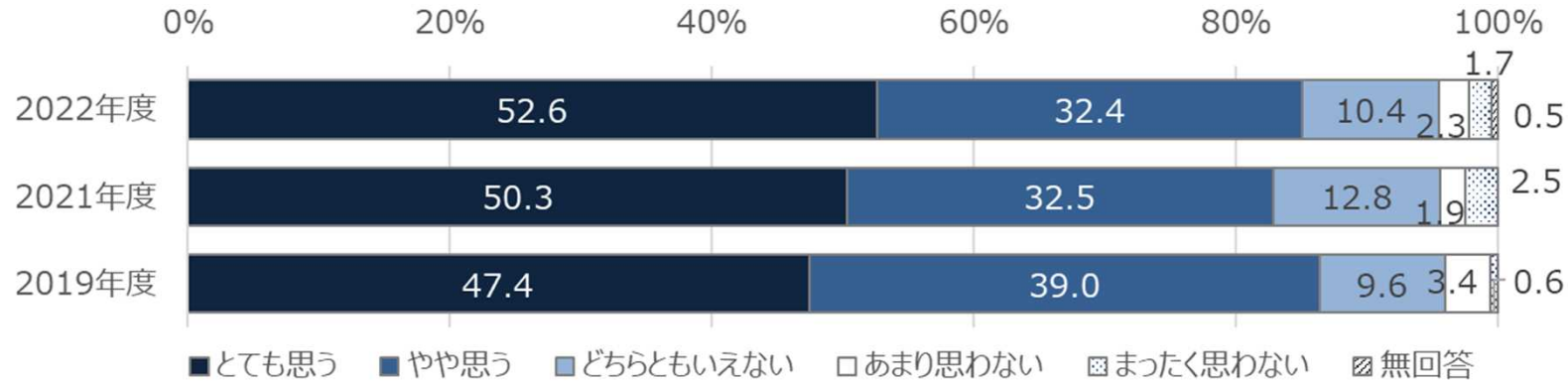


令和4年度 沖縄観光に関する県民意識調査 (調査結果のポイント)



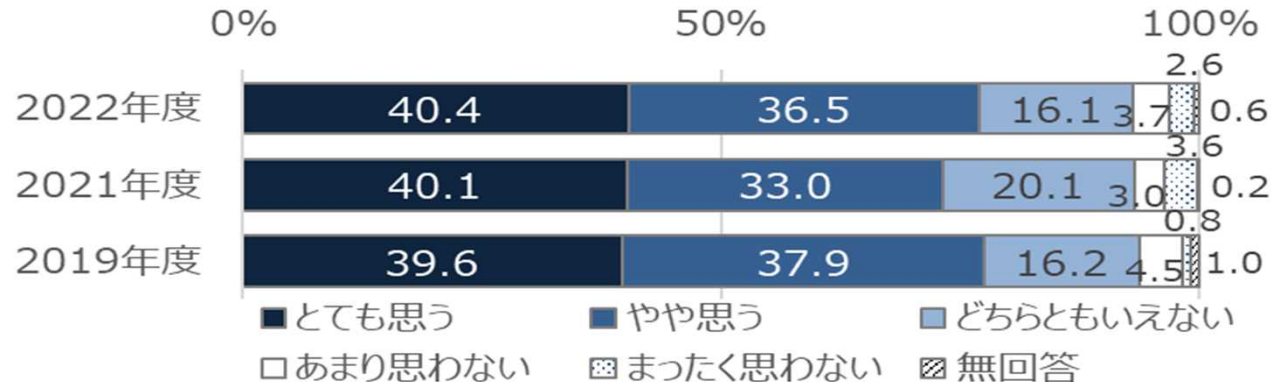
● 沖縄の発展における観光の重要性

沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか



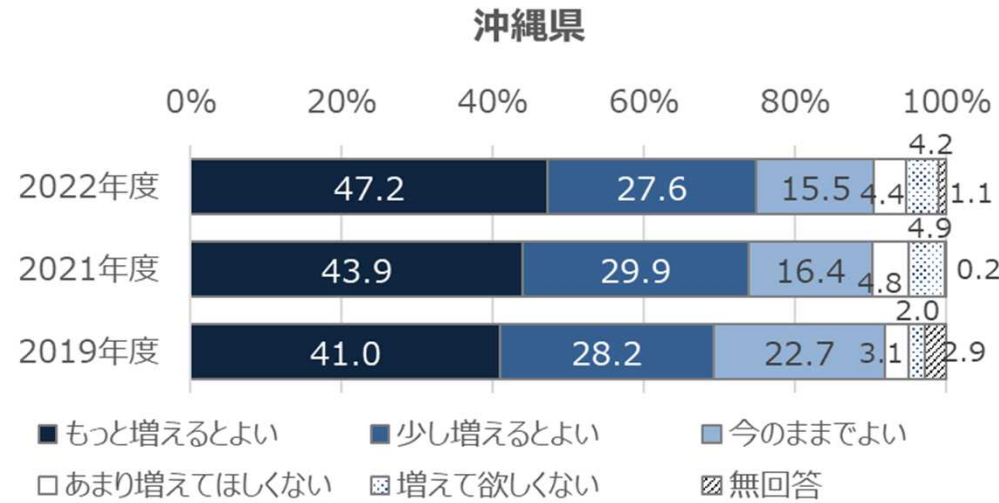
● 観光発展への期待

観光がもっと盛んになるといいと思うか

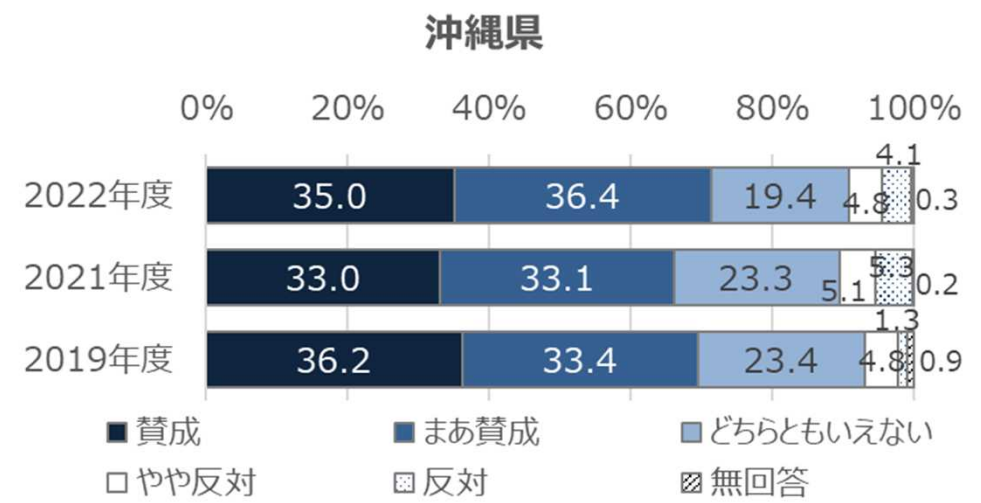


●観光客来訪に対する考え

日本人観光客の来訪に対する考え

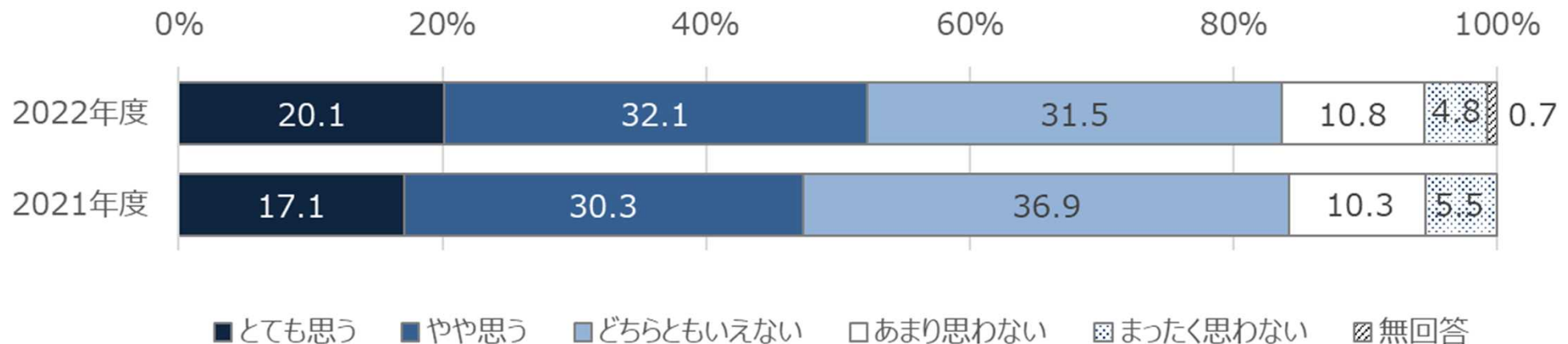


外国人観光客の来訪に対する考え



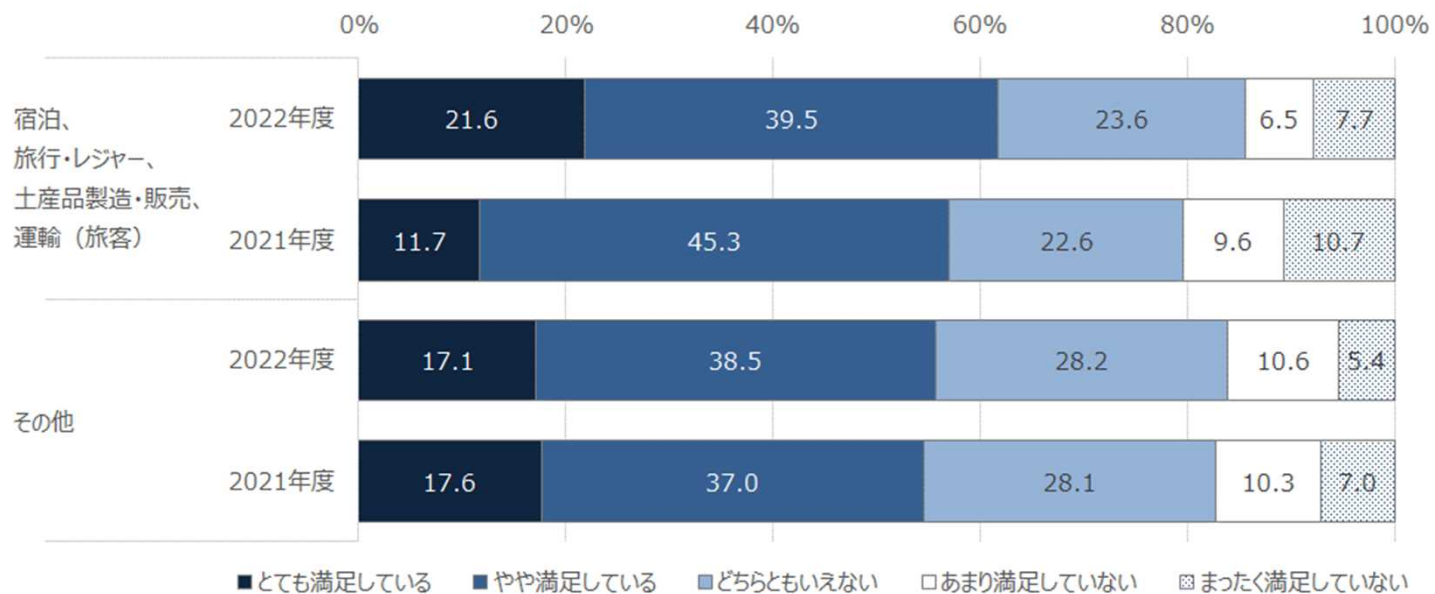
●沖縄の発展と住民の幸福とのつながり

観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか



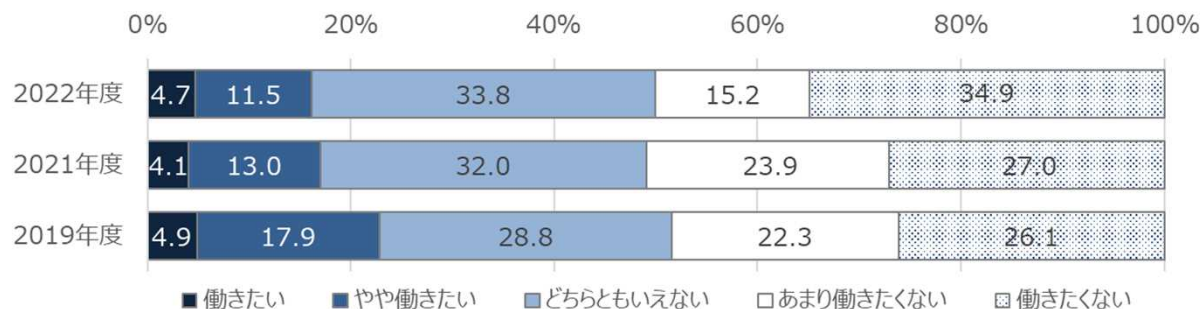
●観光産業従事者の職業満足度

現在勤めている職業に対する満足度

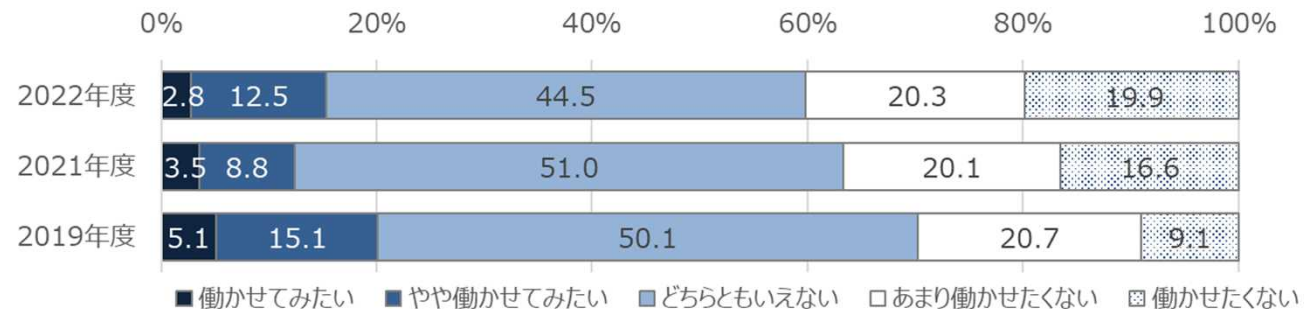


●観光産業への就業意向・就業推奨意向

観光産業への就業意向（未就業者のみ）



観光産業に対する就業推奨意向（子どもが未就業者のみ）



調査結果（ポイント）

調査結果ポイント

令和4年度の調査はコロナ禍から観光が回復基調にある中での調査となったことから、沖縄観光の県経済における重要性等が再認識され、観光発展への期待、観光客が増えて欲しい層や、観光発展による幸福度が前回調査から増加するなど、多くの県民がリーディング産業としての沖縄観光の重要性を高く評価し、今後の発展を期待する結果となった。

一方、観光産業従事者の職業満足度は高いものの、就業意向や就業推奨意向とのギャップが見られるほか、観光産業に対するイメージの上位はマイナスイメージが多い。

今後の取組

観光人材の確保・定着を図るため、観光事業者の生産性向上に資する取組への支援や県内宿泊施設、観光施設等における職場見学・職場訓練などの受入支援、観光現場における様々な取組を伝える広報、キャリアデザインやマネジメント等の知識を習得できる集合型研修などの取組を実施する。

「世界から選ばれる持続可能な観光地」を目指し、観光客のみならず、県民や観光産業従事者を含めた「人」を中心に据えるとともに、社会・経済・環境の三側面において調和が取れた沖縄観光の実現のため、「持続可能な観光地域づくり」に引き続き取り組んでいく。